収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収入金、前払費用、仮払金、貸倒引当金、未払金、仮受金及び預り金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2. に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	3,707,954,436	3,716,145,132
未収入金	533,844,428	532,841,511
前払費用	8,596,260	7,699,102
仮払金	-	40,000
貸倒引当金	△ 688,145	△ 1,567
合 計	4,249,706,979	4,256,724,178
未払金	310,043,206	353,007,894
仮受金	11,253	4,840
預り金	8,571,287	3,672,163
合 計	318,625,746	356,684,897
次期繰越収支差額	3,931,081,233	3,900,039,281

3. 科目間の流用及び予備費の使用について

(1) 科目間の流用

管理費支出の消耗品費支出より 18,000 円を管理費支出の保険料支出に流用した。(注1)

(単位:円)

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
管理費支出－消耗品費支出	1,975,000	△ 18,000	1,957,000
管理費支出－保険料支出	66,000	18,000	84,000

管理費支出の租税公課支出より 39,000 円を管理費支出の修繕費支出に流用した。(注2)

(単位:円)

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
管理費支出－租税公課支出	17,127,000	△ 39,000	17,088,000
管理費支出－修繕費支出	1,331,000	39,000	1,370,000

(2) 予備費の使用

予備費支出△21,906,000 円は事業費支出の輸出取戻し事業費支出及び固定資産取得支出のソフトウェア購入支出に充当使用し、当該予算科目の予算額に含めて表示している。(注3)

(単位:円)

科 目	当初予算額	予備費使用額	使用后予算額
事業費支出－輸出取戻し事業費支出	401,815,000	21,500,000	423,315,000
固定資産取得支出－ソフトウェア購入支出	-	406,000	406,000
予備費支出	90,000,000	△ 21,906,000	68,094,000